平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年７月31日

上場会社名　　株式会社　ブロードリーフ　　上場取引所　東
コード番号　　3673　　ＵＲＬ　http://www.broadleaf.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）大山　堅司
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）山中　健一　　ＴＥＬ　03（5781）3100

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第２四半期の業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	8,468	13.7	1,539	116.0	1,463	121.6	727	205.4
24年12月期第２四半期	7,445	－	712	－	660	－	238	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第２四半期	30.63	29.35
24年12月期第２四半期	10.61	－

（注）１.平成24年12月期第２四半期については、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表を作成しておりませんが、参考情報として、平成24年12月期第２四半期の実績及び平成25年12月期第２四半期の対前年同四半期増減率を記載しております。
２.当社は、平成25年３月22日付けで東京証券取引所市場第一部に上場しているため、平成25年12月期第２四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成25年12月期第２四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第２四半期	25,216	18,102	71.8
24年12月期	22,619	15,018	66.4

（参考）自己資本　　25年12月期第２四半期　　18,102百万円　　24年12月期　　15,018百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年12月期	－	0.00			
25年12月期（予想）			－	17.50	17.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年12月期の業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,851	14.1	4,042	91.2	3,952	94.2	2,089	156.3	86.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（注）詳細は、添付資料３ページ「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項　（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	24,802,900株	24年12月期	22,462,700株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	ー株	24年12月期	ー株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	23,770,260株	24年12月期２Ｑ	22,462,700株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．補足情報 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間における我が国経済は、金融緩和をはじめとする経済成長戦略への期待感から、円安・株高が進行するなど、景気回復への明るい兆しが見られたものの、海外景気の下振れによる影響が懸念されるなど、依然として景気動向は不透明な状況で推移しております。

当社の属する情報通信業界におきましては、金融関連のIT投資の回復、製造・非製造業の更新投資拡大などにより穏やかな回復が続き、業務システムのグローバル対応、ビッグデータの活用、システム基盤の仮想化やクラウド化など、新たなソフトウェアへの投資も持続的に行われております。

自動車業界におきましては、エコカー減税の終了に伴い新車販売は減少しておりますが、当社の多くのお客様が属する自動車アフターマーケット業界では、車検、補修市場は変わらず底堅く推移しております。

このような事業環境の中、当社は「産業プラットフォーム」上での顧客企業への事業支援ITサービスの拡大による成長を加速すべく取り組んでまいりました。具体的には、当社ネットワークサービスを拡大するため、主力である、整備・鈑金事業者、部品商、リサイクル事業者向けのネットワーク型の業務アプリケーションの販売を引き続き強化し、それに加え、カーオーナーに対する提案力、サービス向上のツールとなる「Carpod Tab（カーポッドタブ）」、「BLパーツオーダーシステム」の２つの新サービスのマーケットへの浸透に注力しました。また、販売強化のためコンサルティング型の営業を強化するとともに、ユーザーとの情報交換の場としてユーザー会活動を全国で推進しております。なお、平成25年３月には「国際オートアフターマーケットEXPO 2013」において、「産業プラットフォーム」を構成する各種商品・ソリューションを出展し、積極的に需要喚起を行いました。また、平成25年４月に、中国北京市に自動車リサイクル企業向け総合コンサルティング会社を合弁で設立するなど中国展開を進めております。

この結果、当第２四半期累計期間の経営成績は、売上高84億68百万円、営業利益15億39百万円、経常利益14億63百万円、四半期純利益７億27百万円となりました。

なお、マネジメント・バイアウト(MBO)の実施に伴い発生したのれん償却費を３億34百万円計上しており、これを控除した、のれん償却前営業利益は18億73百万円であり、のれん償却前四半期純利益は10億62百万円となりました。

当社はITサービス事業の単一セグメントでありますが、売上分野別の状況は次のとおりであります。

システム販売分野は、部品商、リサイクル事業者向け業務アプリケーションの販売が好調に推移し、売上高61億87百万円となりました。

システムサポート分野は、保守は堅調に推移しましたが、サプライ品販売の減少により売上高は６億44百万円となりました。

ネットワークサービス分野は、ネットワーク型システムの販売増加によりサーバー提供サービスが順調に推移するなど売上高は16億36百万円となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて25億97百万円増加し、252億16百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が５億52百万円減少し、のれんの償却が進んだ無形固定資産が３億13百万円減少した一方、現金及び預金が株式上場に伴う新株発行などにより32億28百万円増加、売掛金が２億77百万円増加したことによるものです。また、負債は未払法人税等が増加したものの、長期借入金の返済などにより前事業年度末に比べて４億87百万円減少し、71億13百万円となりました。

なお、純資産額は、利益剰余金の増加７億27百万円、株式上場に伴う新株発行などにより資本金及び資本準備金がそれぞれ11億77百万円増加したことなどで、前事業年度末に比べて30億84百万円増加し、181億２百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、68億33百万円となりました。

第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は18億11百万円となりました。主な増加要因は税引前四半期純利益14億55百万円、減価償却費３億31百万円、のれん償却額３億34百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加２億98百万円、未払費用の減少42百万円、法人税等の支払額54百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、１億75百万円となりました。主な要因は投資有価証券の売却による収入２億31百万円、投資有価証券の取得による支出１億円及び無形固定資産の取得による支出２億94百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、15億92百万円となりました。主な要因は株式の発行による収入23億55百万円と長期借入金の返済による支出７億50百万円であります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年３月22日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、中期的な成長を目的として、第３四半期会計期間に、当社ユーザーの支援サービスの推進や中国における販売会社の設立を行っておりますが、業績への寄与は来期以降に見込んでおります。

また、当社のシステム販売分野はシステムの使用権を当社がリース会社に販売し、リース会社が顧客へ主に６年でリース販売する契約形態が多くなっており、過去に販売した業務アプリケーションの更新時期の偏りにより、第２四半期会計期間、特に第４四半期会計期間において売上が増加する特徴があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第２四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,604,657	6,833,511
受取手形	56,923	78,367
売掛金	2,266,245	2,543,329
商品	95,819	116,886
仕掛品	―	13,627
貯蔵品	5,692	6,133
前払費用	211,219	211,610
繰延税金資産	1,236,868	684,103
未収入金	1,277,506	1,311,196
その他	15,790	15,811
貸倒引当金	△9,085	△6,215
流動資産合計	8,761,635	11,808,362
固定資産		
有形固定資産	520,925	520,504
無形固定資産		
のれん	11,368,469	11,034,102
ソフトウエア	1,107,024	1,127,579
無形固定資産合計	12,475,494	12,161,682
投資その他の資産		
投資有価証券	265,178	135,606
関係会社出資金	100,000	100,000
従業員に対する長期貸付金	1,763	460
破産更生債権等	9,360	10,083
長期前払費用	79,216	74,800
敷金及び保証金	409,271	409,093
その他	5,550	5,550
貸倒引当金	△9,360	△10,083
投資その他の資産合計	860,979	725,511
固定資産合計	13,857,399	13,407,698
資産合計	22,619,034	25,216,060

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形	83,792	50,857
買掛金	317,906	343,724
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	1,500,000
リース債務	24,779	35,581
未払金	2,084,995	2,165,360
未払費用	420,559	375,868
未払法人税等	84,716	206,395
未払消費税等	67,655	92,779
前受金	45,708	45,907
預り金	68,252	81,762
賞与引当金	405,599	440,768
損害補償損失引当金	33,955	35,874
その他	31,201	31,201
流動負債合計	5,169,122	5,406,081
固定負債		
長期借入金	2,250,000	1,500,000
リース債務	60,186	90,277
資産除去債務	111,308	110,014
繰延税金負債	9,988	7,117
固定負債合計	2,431,482	1,707,409
負債合計	7,600,605	7,113,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,615,675	6,793,205
資本剰余金	5,615,675	6,793,205
利益剰余金	3,797,771	4,525,764
株主資本合計	15,029,121	18,112,174
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,692	△9,604
評価・換算差額等合計	△10,692	△9,604
純資産合計	15,018,428	18,102,570
負債純資産合計	22,619,034	25,216,060

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	8,468,451
売上原価	2,262,504
売上総利益	6,205,946
販売費及び一般管理費	4,666,653
営業利益	1,539,293
営業外収益	
受取利息	374
受取配当金	4,455
その他	8,877
営業外収益合計	13,707
営業外費用	
支払利息	15,173
損害補償損失引当金繰入額	27,756
株式公開費用	43,658
その他	3,239
営業外費用合計	89,827
経常利益	1,463,173
特別損失	
固定資産除却損	7,995
特別損失合計	7,995
税引前四半期純利益	1,455,177
法人税、住民税及び事業税	177,290
法人税等調整額	549,894
法人税等合計	727,184
四半期純利益	727,993

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,455,177
減価償却費	331,671
のれん償却額	334,366
賞与引当金の増減額（△は減少）	35,168
受取利息及び受取配当金	△4,829
支払利息	15,173
売上債権の増減額（△は増加）	△298,529
たな卸資産の増減額（△は増加）	△35,135
未収入金の増減額（△は増加）	△30,690
仕入債務の増減額（△は減少）	△7,116
未払金の増減額（△は減少）	77,625
未払費用の増減額（△は減少）	△42,228
その他	52,677
小計	1,883,329
利息及び配当金の受取額	374
利息の支払額	△17,628
法人税等の支払額	△54,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,811,899
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△12,246
投資有価証券の取得による支出	△100,000
投資有価証券の売却による収入	231,415
無形固定資産の取得による支出	△294,315
その他	△595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,743
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△750,000
株式の発行による収入	2,355,060
リース債務の返済による支出	△12,354
その他	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,592,698
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,228,854
現金及び現金同等物の期首残高	3,604,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,833,511

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年３月22日付で東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。この上場にあたり、平成25年３月21日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,167,480千円増加しております。また、当第２四半期累計期間における新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ10,050千円増加しております。

この結果、当第２四半期会計期間末において資本金及び資本準備金がそれぞれ6,793,205千円となっております。

４．補足情報

当期実績及び業績予想

	平成25年12月期				
	第２四半期累計（百万円）	売上構成比（%）	通期業績予想進捗率（%）	前年同四半期増減率（%）	通期業績予想（百万円）
売上高	8,468	100.0%	47.4%	13.7%	17,851
システム販売分野	6,187	73.1%	47.7%	15.7%	12,982
システムサポート分野	644	7.6%	46.5%	0.5%	1,386
ネットワークサービス分野	1,636	19.3%	47.0%	12.3%	3,482
営業利益	1,539	18.2%	38.1%	116.0%	4,042
四半期（当期）純利益	727	8.6%	34.8%	205.4%	2,089

前期実績

	平成24年12月期				
	第２四半期累計（百万円）	売上構成比（%）	通期業績進捗率（%）	前年同四半期増減率（%）	通期業績（百万円）
売上高	7,445	100.0%	47.6%	△0.2%	15,641
システム販売分野	5,347	71.8%	47.1%	△5.8%	11,353
システムサポート分野	641	8.6%	50.1%	2.4%	1,279
ネットワークサービス分野	1,457	19.6%	48.4%	26.1%	3,008
営業利益	712	9.6%	33.7%	19.4%	2,114
四半期（当期）純利益	238	3.2%	29.2%	△29.2%	815